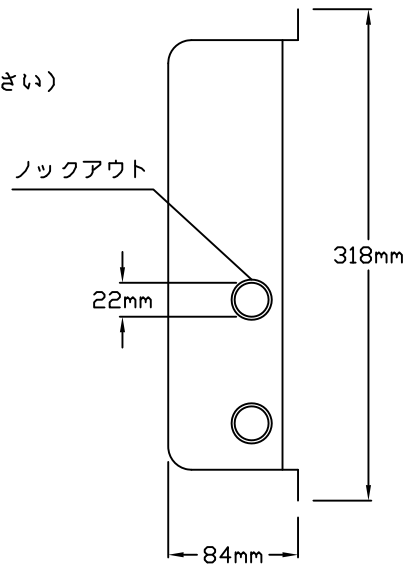
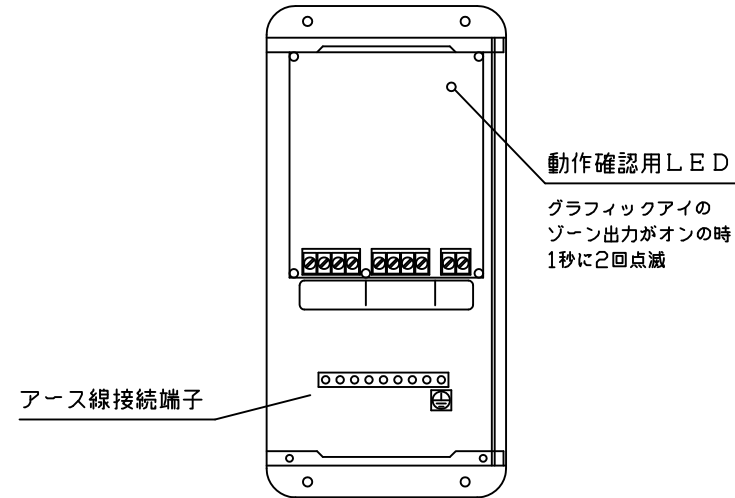


正面図（カバーを取り付けた状態）



側面図



内部図（カバーを取り外した状態）

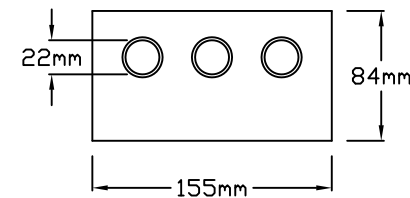
機能説明

GRX-PWMは、グラフィックアイQS・3000シリーズ用のインターフェースで、ルートロンの位相制御調光信号をPWM信号に変換し、他社製PWM調光照明器具などの器具の制御が可能になります。

他社製PWM器具とのマッチングテストが必須になります。調光範囲、最大接続可能台数等は照明器具の性能によります。なお、グラフィックアイの当該ゾーンの負荷設定を蛍光灯 (Fluorescent) に設定してください。

定格・仕様

定格動作電源	AC100V 50/60Hz
定格負荷電源	AC100V・200-277V 50/60Hz
待機電力	1W
最大負荷容量	16A
PWM信号定格出力	400mA
PWM信号規格	12V 1kHz DUTY制御信号
PWM信号適合電線	CPEVS 0.9mm 1P
PWM信号最大配線長	100m
使用周囲温度	0~40℃（一般屋内取付専用） 相対湿度90%以下（無結露）
適合電線	電源線 VVF-2.0mm以下の電線
電線むき長さ	約10mm
取付方法	取付ネジ4本で壁に直接取付（ネジは別途ご用意ください）
ケースの材質	金属
全体の重量	2Kg
適合器具	PWM方式調光蛍光灯器具 PWM方式調光対応型LED照明器具 放電灯、LED、モーター等の非調光負荷

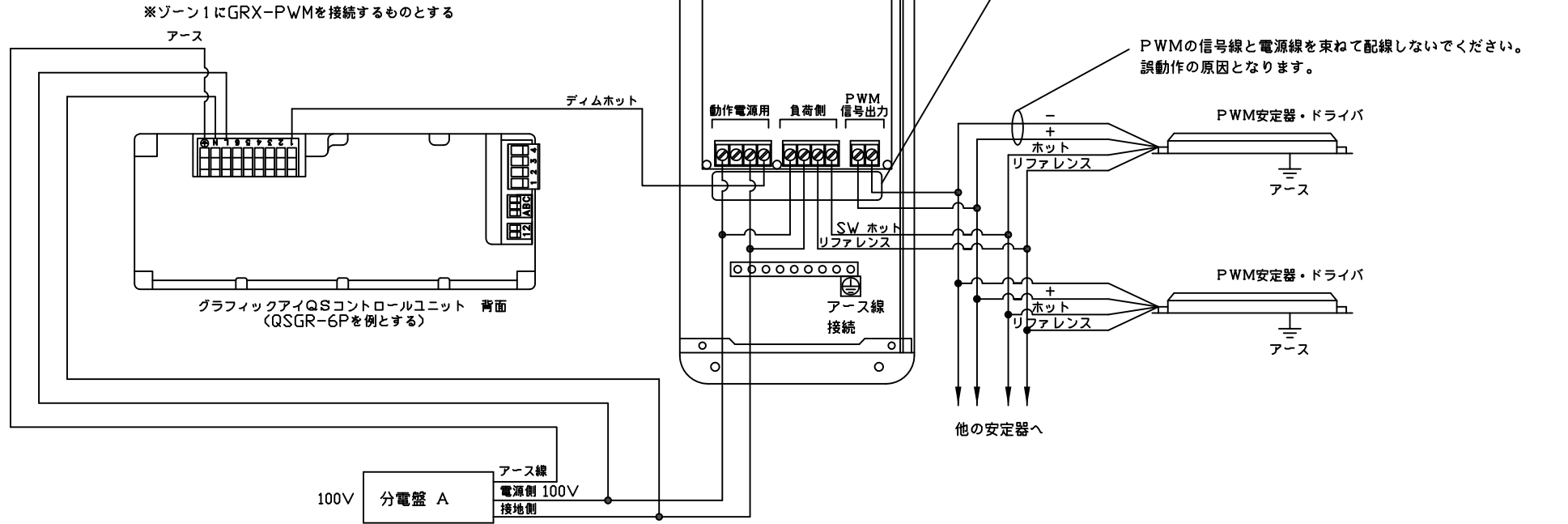


底面図

<p>LUTRON ルートロン アスカ株式会社</p>			GRX-PWM-JA		REVISION	1.11		
					RELEASED	2016.12.16		
承認	検図	作成	GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000 シリーズ PWMインターフェース 仕様書			PAGE	1/6	
谷崎	石黒	浅野						

一系統給電

コントロールユニットとPWMインターフェースの電源を
1つのブレーカーから取る場合



PWMの信号線と電源線を束ねて配線しないでください。
誤動作の原因となります。

配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、全てのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100/200~277V電源線を、コントロールユニットの低電圧端子に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (6) GRX-PWMの本体動作電源は、AC100VをL2/H2に接続して下さい。
- (7) ひとつのゾーンに複数のGRX-PWM(最大5台まで)を接続する場合、GRX-PWMの「ゾーンから」端子にて分岐し、次のGRX-PWMへ延長して下さい。
- (8) 動作電源は、グラフィックアイに給電される電源と同相としてください。
- (9) 動作中に内部にてリレー音が出ます。リレー音が許容できる場所に取り付けてください。

端子台ラベルの説明

- ・コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC100V : GRX-PWMの本体動作電源入力
 - 接地側 : GRX-PWMの本体動作電源接地側
 - ゾーンから : グラフィックアイ本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWMへの位相制御入力)
- ・負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC100~277V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC100~277V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側
- ・12V (PWM信号出力)
 - +: PWM制御信号 (+)
 - : PWM制御信号 (-)

LUTRON
ルutron アスカ株式会社

GRX-PWM-JA

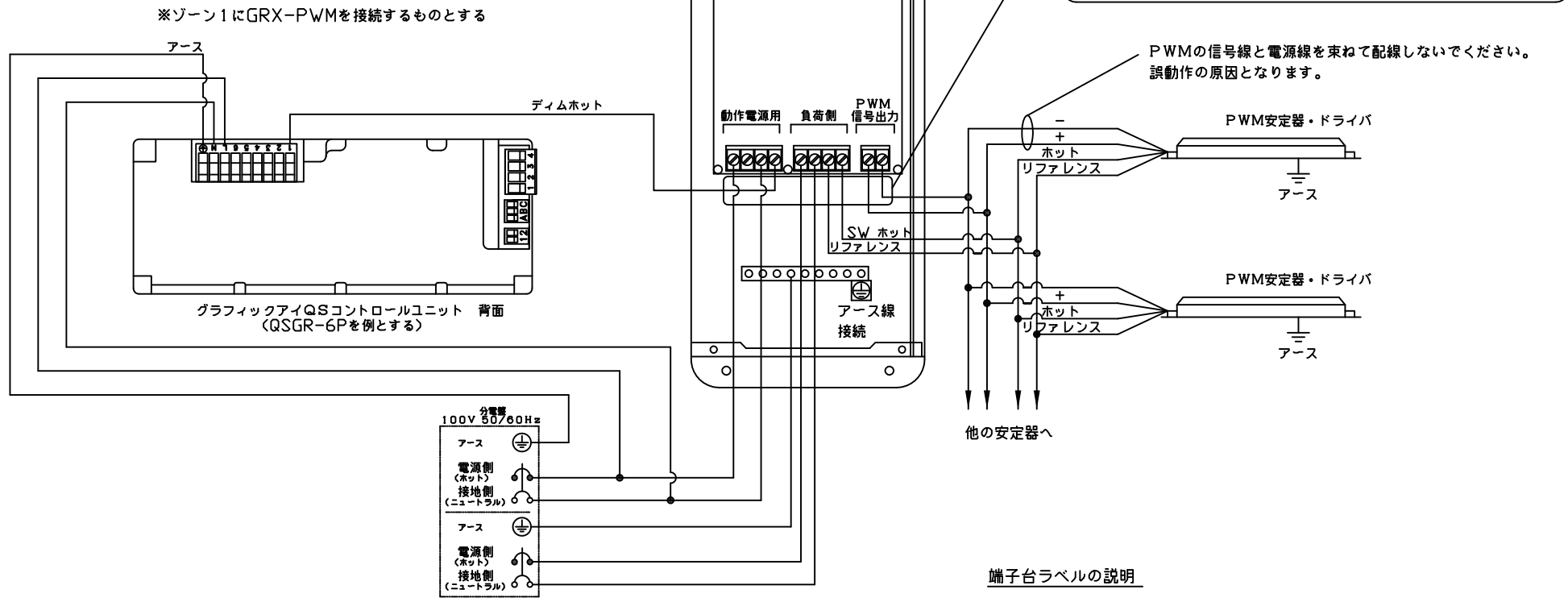
REVISION	1.11
RELEASED	2016.12.16
PAGE	2/6

承認	谷崎	検図	石黒	作成	浅野
----	----	----	----	----	----

GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000シリーズ
PWMインターフェース 配線図 - 100V 1系統給電 PWM調光器具との接続

複数系統給電

コントロールユニットとPWMインターフェースの電源を別のブレーカーから取る場合



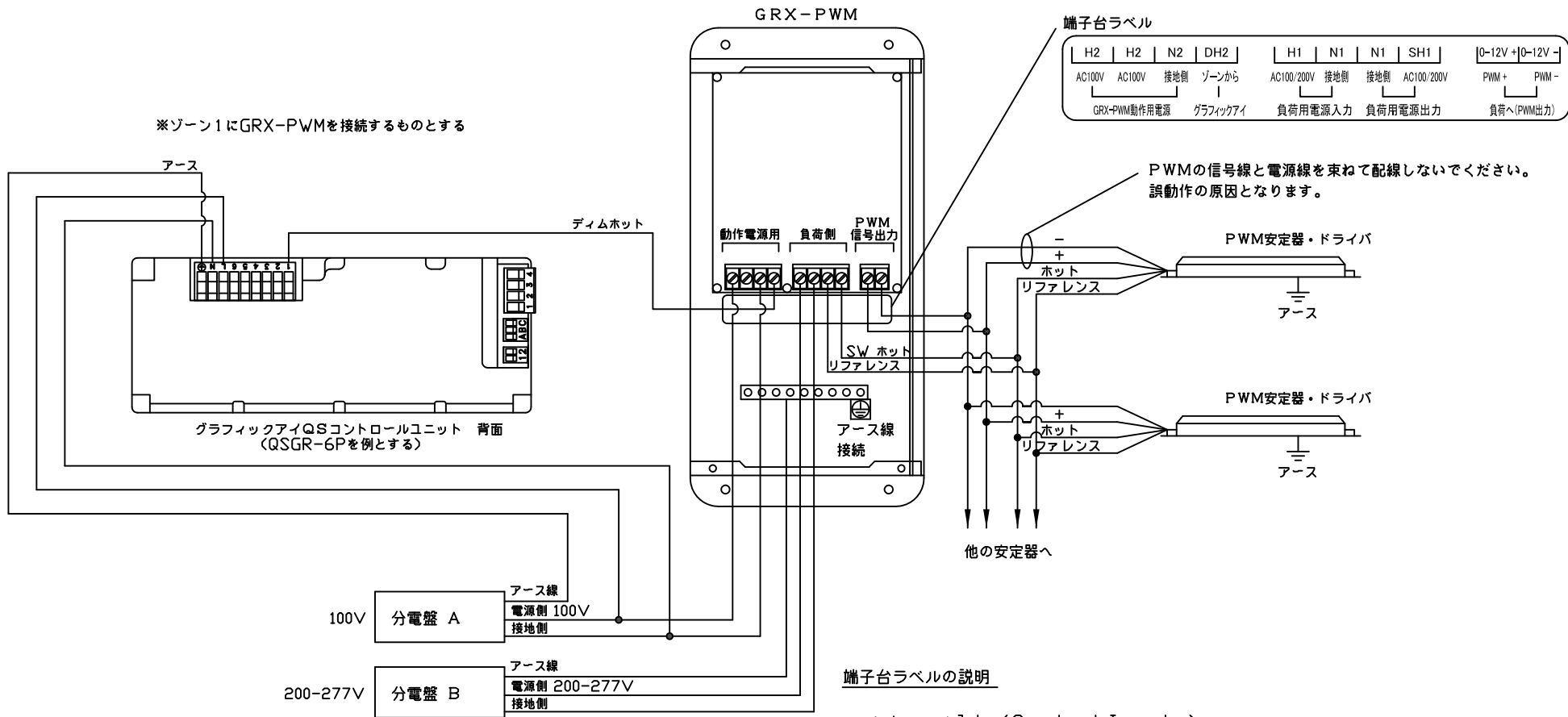
配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、全てのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100/200~277V電源線を、コントロールユニットの低電圧端子に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (6) GRX-PWMの本体動作電源は、AC100VをL2/H2に接続して下さい。
- (7) ひとつのゾーンに複数のGRX-PWM(最大5台まで)を接続する場合、GRX-PWMの「ゾーンから」端子にて分岐し、次のGRX-PWMへ延長して下さい。
- (8) 動作電源は、グラフィックアイに給電される電源と同相としてください。
- (9) 動作中に内部にてリレー音が出ます。リレー音が許容できる場所に取り付けてください。

端子台ラベルの説明

- ・コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC100V : GRX-PWMの本体動作電源入力
 - 接地側 : GRX-PWMの本体動作電源接地側
 - ゾーンから : グラフィックアイ本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWMへの位相制御入力)
- ・負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC100~277V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC100~277V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側
- ・12V (PWM信号出力)
 - + : PWM制御信号 (+)
 - : PWM制御信号 (-)

 LUTRON ルートロン アスカ株式会社			GRX-PWM-JA	REVISION	1.11
				RELEASED	2016.12.16
承認	谷崎	検図	石黒	作成	浅野
GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000シリーズ PWMインターフェース 配線図 - 100V複数系統給電 PWM調光器具との接続				PAGE	3/6

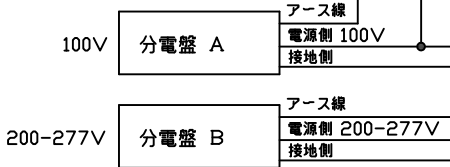


端子台ラベル

H2	H2	N2	DH2	H1	N1	N1	SH1	0-12V +	0-12V -
AC100V	AC100V	接地側	ゾーンから	AC100/200V	接地側	接地側	AC100/200V	PWM +	PWM -
GRX-PWM動作電源			グラフィックアイ	負荷用電源入力			負荷用電源出力		負荷へ(PWM出力)

PWMの信号線と電源線を束ねて配線しないでください。誤動作の原因となります。

他の安定器へ



端子台ラベルの説明

- ・ コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC100V : GRX-PWMの本体動作電源入力
 - 接地側 : GRX-PWMの本体動作電源接地側
 - ゾーンから : グラフィックアイ本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWMへの位相制御入力)
- ・ 負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC100~277V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC100~277V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側
- ・ 12V (PWM信号出力)
 - +: PWM制御信号 (+)
 - : PWM制御信号 (-)

配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、全てのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100/200~277V電源線を、コントロールユニットの低電圧端子に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (6) GRX-PWMの本体動作電源は、AC100VをL2/H2に接続して下さい。
- (7) ひとつのゾーンに複数のGRX-PWM (最大5台まで) を接続する場合、GRX-PWMの「ゾーンから」端子にて分岐し、次のGRX-PWMへ延長して下さい。
- (8) 動作電源は、グラフィックアイに給電される電源と同相として下さい。
- (9) 動作中に内部にてリレー音が出ます。リレー音が許容できる場所に取り付けてください。

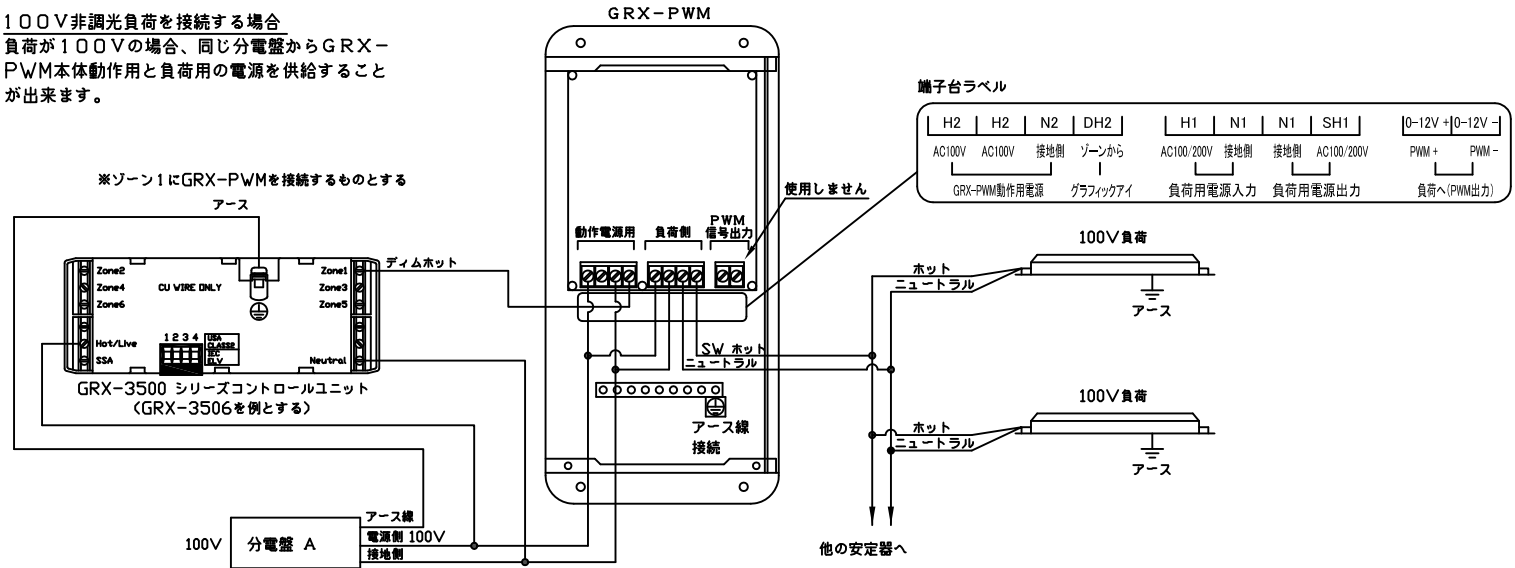
<p>LUTRON ルutron アスカ株式会社</p>			GRX-PWM-JA		REVISION	1.11	
					RELEASED	2016.12.16	
承認	谷崎	検図	石黒	作成	浅野	PAGE	4/6
GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000シリーズ PWMインターフェース 配線図 - 200-277V PWM調光器具との接続							

配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、全てのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100/200~277V電源線を、コントロールユニットの低電圧端子に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (6) GRX-PWMの本体動作電源は、AC100VをL2/H2に接続して下さい。
- (7) ひとつのゾーンに複数のGRX-PWM(最大5台まで)を接続する場合、GRX-PWMの「ゾーンから」端子にて分岐し、次のGRX-PWMへ延長して下さい。
- (8) 動作電源は、グラフィックアイに給電される電源と同相としてください。
- (9) 動作中に内部にてリレー音があります。リレー音が許容できる場所に取り付けてください。

100V非調光負荷を接続する場合

負荷が100Vの場合、同じ分電盤からGRX-PWM本体動作と負荷用の電源を供給することが出来ます。

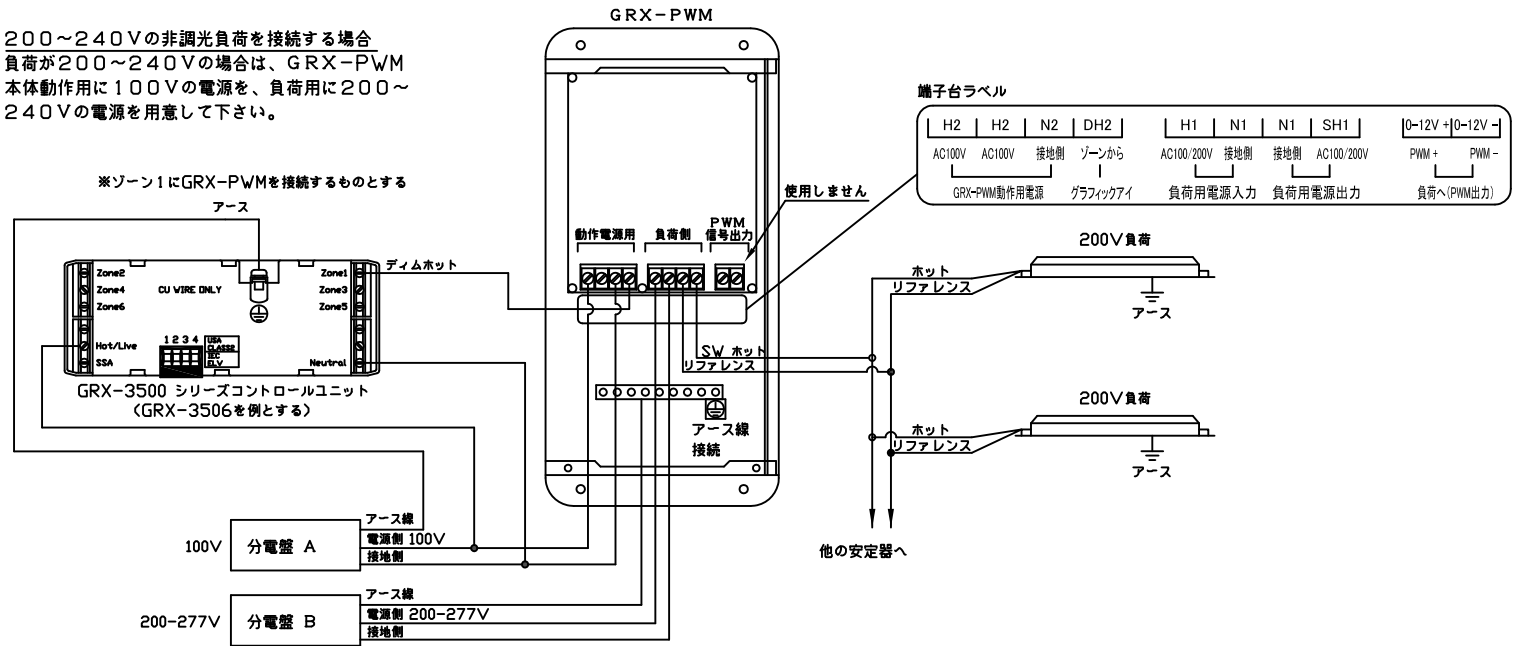


端子台ラベルの説明

- ・コントロール入力 (Control Inputs)
 - AC100V : GRX-PWMの本体動作電源入力
 - 接地側 : GRX-PWMの本体動作電源接地側
 - ゾーンから : グラフィックアイ本体から照明ゾーン接続 (GRX-PWMへの位相制御入力)
- ・負荷電源 (Load Switched)
 - 入力
 - AC100~277V : 負荷用電源入力
 - 接地側 : 負荷用電源入力接地側
 - 出力
 - AC100~277V : 負荷への電源出力
 - 接地側 : 負荷からの電源接地側

200~240Vの非調光負荷を接続する場合

負荷が200~240Vの場合は、GRX-PWM本体動作用に100Vの電源を、負荷用に200~240Vの電源を用意して下さい。



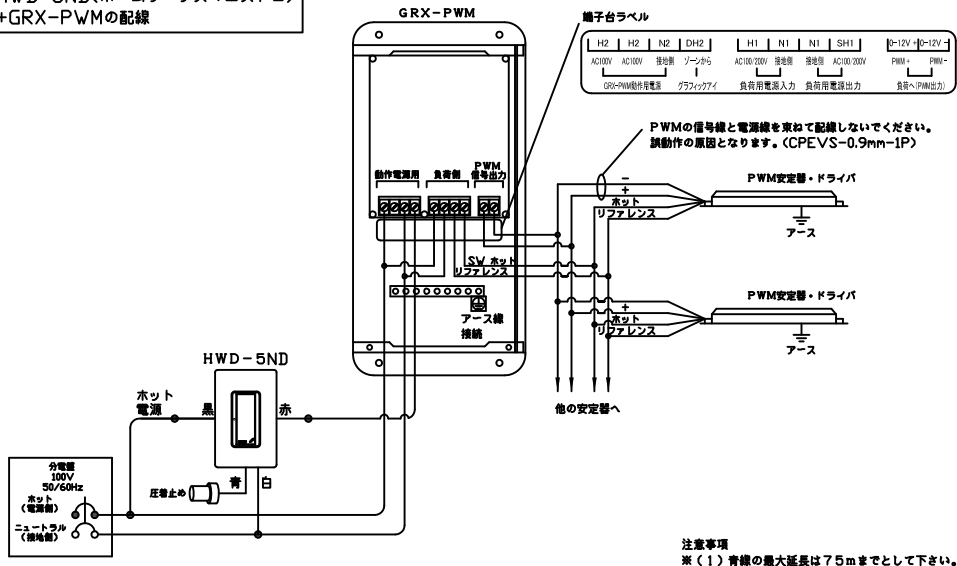
GRX-PWM-JA

REVISION	1.11
RELEASED	2016.12.16
PAGE	5/6

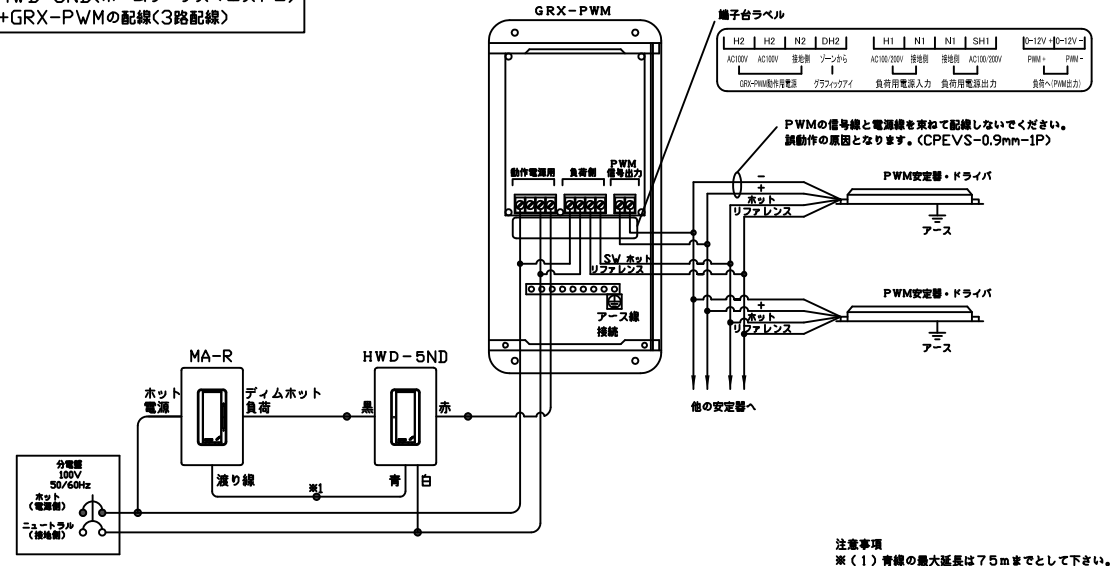
承認	細谷	検図	谷崎	作成	浅野
----	----	----	----	----	----

GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000シリーズ
PWMインターフェース 配線図 - 非調光負荷との接続

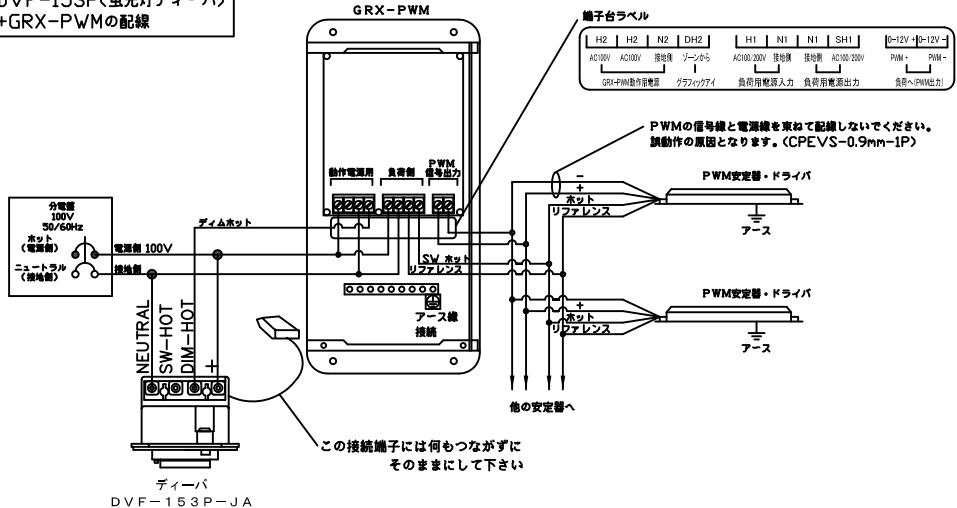
HWD-5ND(ホームワークスマエストロ)
+GRX-PWMの配線



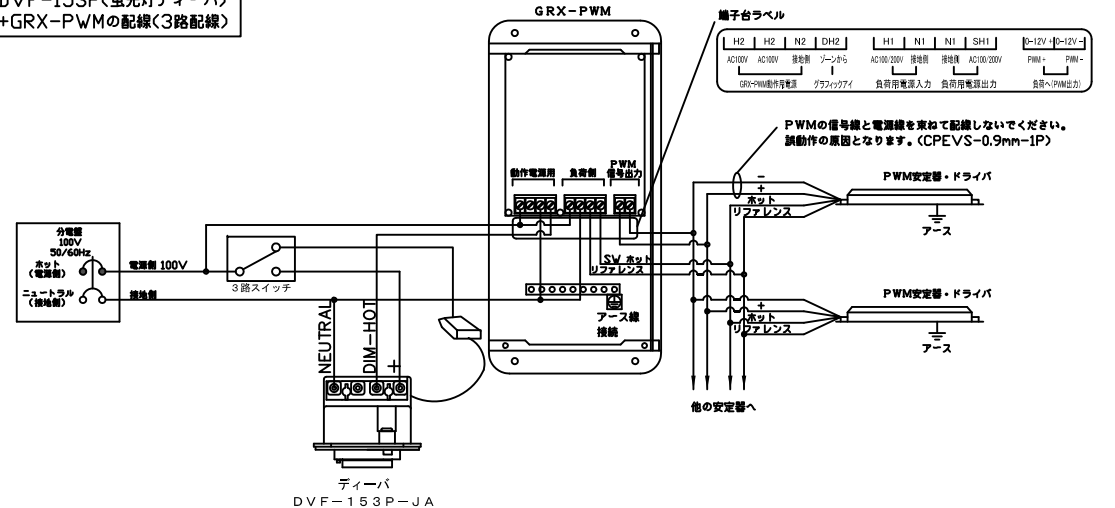
HWD-5ND(ホームワークスマエストロ)
+GRX-PWMの配線(3路配線)



DVF-153P(蛍光灯ディーバ)
+GRX-PWMの配線



DVF-153P(蛍光灯ディーバ)
+GRX-PWMの配線(3路配線)



配線上の注意

- (1) 配線を始める前に、全てのブレーカーを切ってください。複数の分電盤から給電されている場合があります。
- (2) 安全のため、アース線は必ず接続してください。
- (3) 100/200~277V電源線を、コントロールユニットの低電圧端子に接続しないでください。
- (4) 端子台のビスは、しっかりと締めてください。
- (5) メガテストの際は、電圧100Vにて関係回路全ての電源をOFFにして行ってください。
- (6) GRX-PWMの本体動作電源は、AC100VをL2/H2に接続して下さい。

<p>ルutron アスカ株式会社</p>			GRX-PWM-JA		REVISION	1.11	
					RELEASED	2016.12.16	
承認	谷崎	検図	石黒	作成	浅野	PAGE	6/6
GRAFIK EYE グラフィックアイQS・3000シリーズ PWMインターフェース 配線図 - ウォールボックスとPWM調光器具の接続							